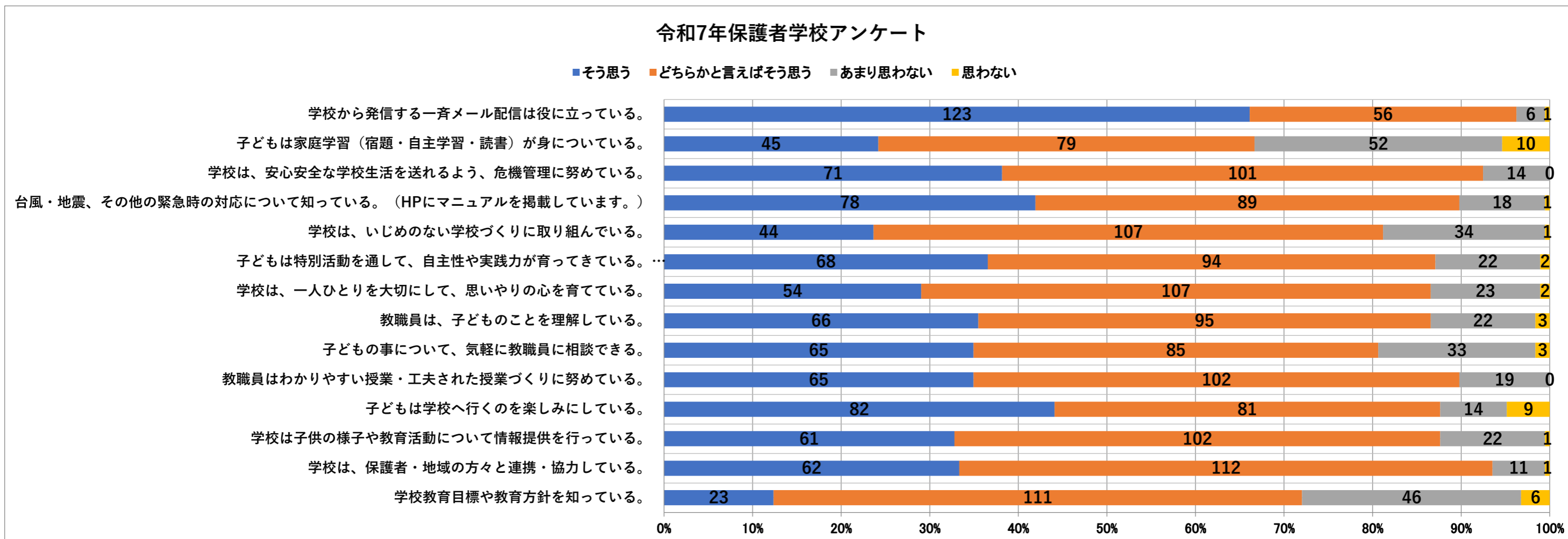


「令和7年度 学校教育アンケート」を終えて

平素は本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、12月に実施いたしました「学校教育アンケート」の保護者用、児童用の集計結果を報告させていただきます。このアンケートは本校の教育活動について、改善すべきところを明確にし、今後の学校運営に反映させるために実施しております。

アンケートの分析につきましては「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の回答は肯定的な評価と判断し、80%を超えるものを「おおむね良好」と捉えております。



今年度の 全体の傾向としては、ほとんどの保護者の方が「おおむね良好」という評価をくださいました。お忙しい中でのご回答をいただき、誠にありがとうございます。

「1.学校教育目標や教育方針を知っている。」につきましては、最も保護者の皆様にとって理解いただかなければならないことにもかかわらず肯定的な回答が72%と「おおむね良好」であることよりも低めの評価をいただきました。このことは昨年度からの課題であり、このような結果になってしまったことを、真摯に受け止めております。学校教育目標や教育方針などを周知するとともに、具体的な取組の様子なども学校だよりなどを通して、適宜お知らせするように努めてまいります。

「2.学校は保護者・地域の方々と連携している。」では、93%の肯定的な回答をいただき保護者、地域、学校で協力して子どもを育てていける恵まれた環境であることを改めて実感しました。また、「5教職員はわかりやすい授業・工夫された授業づくりに努めている。」「11.台風・地震、その他の緊急時の対応について知っている。」「12.学校は、安心安全な学校生活を送れるよう、危機管理に努めている。」「14.学校から発信する一斉メール配信は役に立っている。」に関しても90%を超える肯定的な回答をいただきました。さらなる向上を目指してまいります。

「6.子どもの事について、気軽に教職員に相談できる。」に関しては昨年より10%を上回る91%の肯定的な回答を得られており、引き続き相談しやすい体制を充実させてまいります。

「8.学校は一人ひとりを大切に、思いやりの心を育てている。」については、本校が継続して子どもの心を育む取組に注力してきた成果が現れているのではないかと考えられます。今後も継続して心を育てるよう取り組んでまいります。

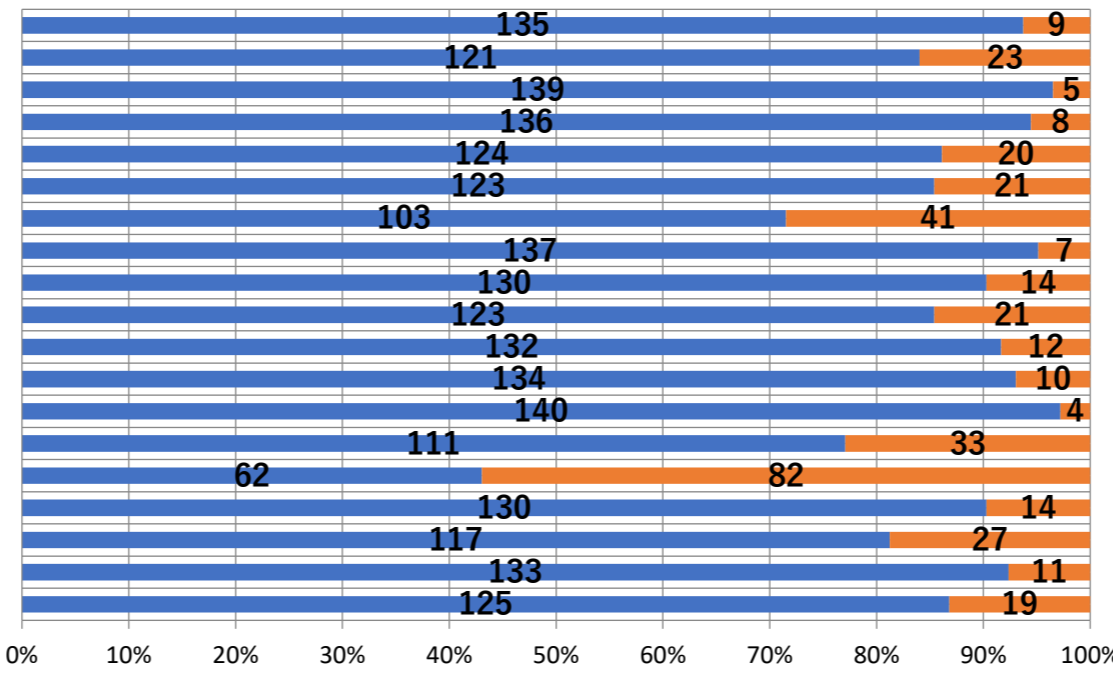
また「13.子どもは家庭学習（宿題・自主学習・読書）が身についている。」に関しては肯定的な回答が昨年よりも低い67%となり家庭学習での課題が見受けられました。読書については、児童のアンケートでも図書室を利用したいと思う割合が極めて低く、図書イベントだけでなく、図書室が様々な本との出会いの場となるよう、新しい本の種類を精選するなど、児童が本と出会う楽しみを実感できるようにしていきたいと思っております。家庭学習の習慣づけに関しては、学校と家庭で協力して引き続き取り組んでまいります。

以上「学校教育アンケート」の分析と考察を報告させていただきました。これからも「よりよい吹田第六小学校」にするために、教職員一同で今まで以上に全力で教育活動に取り組んでまいりますので、今後ともご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和7年度低学年学校アンケート

■ はい ■ いいえ ■ どちらともいえない

- 学校のきまりを守っていますか。
- 自分には良いところがあると思いますか。
- いじめは、してはいけないことだと思いますか。
- 学校の宿題をきちんとしていますか。
- 運動会、音楽会などの学校行事は楽しいですか。
- 給食はおいしく、楽しみにしていますか。
- 図書室に、たくさん行きたいなあとありますか。
- 地震や火災などが起きたとき、どうしたらよいか教えてもらっていますか。
- 自分から学ぼうとしていますか。
- 「思いやり」について教えてもらっていますか。
- 困ったことなどを話せる先生がいますか。
- 先生は、自分ががんばったことを分かってくれますか。
- 先生は、わたしたちの話を聞いてくれますか。
- 授業中でわからないことについて、先生に質問しやすいですか。
- 授業中、発表することが多いですか。
- 学校の勉強はわかりやすいですか。
- 先生や友だちや学校にきた人にあいさつしていますか。
- 友だちといっしょに楽しく遊んでいますか。
- 学校へ行くのが楽しいですか？



低学年のアンケートは1, 2, 3年生の児童の回答となり、回答項目を(■はい ■いいえ ■どちらともいえない)の3項目で実施しました。

各質問において、概ね80%近くの肯定的な回答が得られていますが、それに届かなかったのは①「図書室にたくさん行きたいと思いますか。」②「授業中わからないことについて先生に質問しやすいですか。」③「授業中発表することが多いですか。」の3項目でした。

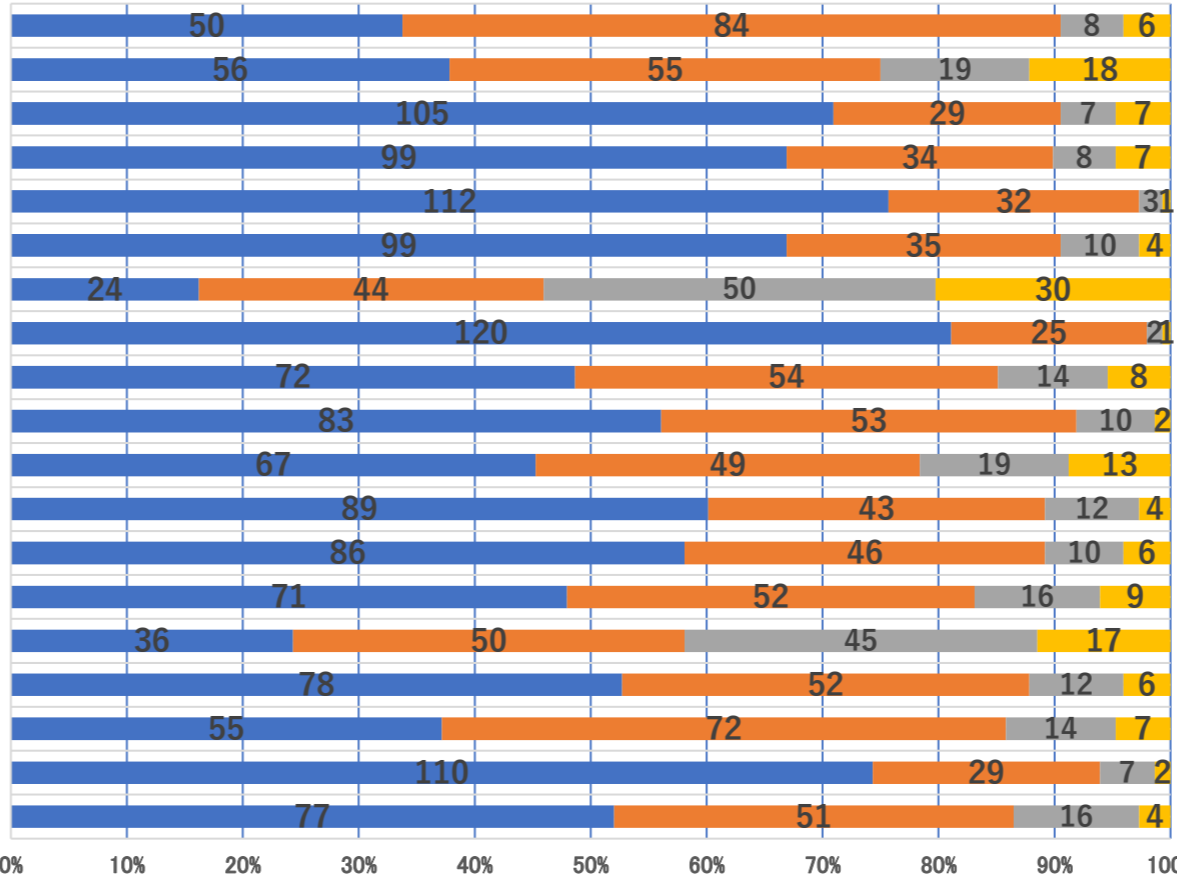
①については図書室に子どもたちの興味のある本を置くなど本と出会う楽しみが増えるよう工夫をしていきます。②については先生だけでなくわからないことがあれば友達に聞くこともあるでしょうし、気軽にわからないことが聞きあえる学級の雰囲気を作っていくように努めてまいります。③については、学校全体で継続して「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」に取り組んでおり、どのクラスも「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」ができるようになってきています。間違えても安心して発表できるようなクラスの雰囲気づくりを続けていきたいと思えます。

最後に「いじめはしてはいけないことだと思いますか。」については、いじめ予防授業やセサミストリートカリキュラムなどの多様性教育、思いやりロードなどを通して心を育てており、本校で継続して取り組んでいます。今後は「いじめは絶対にしてはいけない」と思う児童100%を目指し、「いじめのない学校」をつくってまいります。

令和7年度高学年学校アンケート

■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えば思わない ■ そう思わない

- 学校の決まりを守っている。
- 自分には良いところがあると思う。
- いじめは、どんな理由があってもしてはいけないと思う。
- 学校の宿題をきちんとしている。
- 運動会、音楽会、遠足、宿泊学習などの学校行事は楽しい。
- 給食はおいしく、楽しみにしている。
- 図書室にたくさん行きたいと思う。
- 地震や火災などが起きたとき、どうしたらよいか教えてもらっている。
- 自ら学ぼうとしている。
- 「思いやり」について教えてもらっている。
- いろいろなことを相談できる先生がいる。
- 先生は、自分が努力したことを認めてくれる。
- 先生はわたしたちの意見や話を聞いてくれる。
- 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。
- 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。
- 先生は教え方にいろいろな工夫をしているので授業が分かりやすい。
- 先生や友だちや来校者にあいさつをしている。
- 友だちといっしょに楽しく遊んでいる。
- 学校へ行くのが楽しい



高学年のアンケートは4, 5, 6年生の児童の回答となり、回答項目を(■はい ■どちらかと言えばそう思う ■どちらかと言えば思わない ■そう思わない)の4項目で実施しました。

各質問において、概ね80%以上の肯定的な回答が得られましたが、一部届いていない項目がありました。

「自分にはよいところがあると思う。」は学期ごとの吹六っ子アンケートでは少しずつ自己肯定感が上がってきていました。児童の主体性を伸ばし、3学期からは積極的行動支援(PBS)にも取り組み、一人ひとりのよさやできたことを認めていき、子どもの心を育てていきます。「図書室にたくさん行きたいと思う」に関しては低学年同様、学校図書館として図書室に子どもたちの興味のある本を置くなど本と出会う楽しみが増えるよう工夫をしていきます。「いろいろなことを相談できる先生がいる」に関しては、現在、交換授業や専科指導を通して担任以外の教師とも関わりが増えるような体制を築いています。引き続き担任以外の先生にも児童が相談できるようにしていきたいと思えます。「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。」については、低学年同様「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」を継続し、安心して学ぶことのできる学級経営を目指してまいります。また主体的、対話的で深い学びの授業改善を行い、自分で考えを深め、それを自分でまとめることができるような学力をはぐくんでまいります。